

.....

留学先大学：トリーア大学
 留学先での所属学部・研究科：ドイツ学
 留学先での在籍身分：交換留学生
 留学期間：2016 年 9 月～ 2017 年 7 月
 神戸大学での所属学部・研究科：人文学研究科
 学年（出発時）：M1
 本報告書記入日：2016 年 11 月 28 日

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

☐ はい ☒ いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> _____ <期間> _____

1-2. 交換留学プログラムを最初どのように知りましたか。

☐ 留学生センターの教員 ☐ 所属部局の教員 ☐ 友人
☐ 以前に参加した先輩 ☐ 所属部局の掲示板 ☒ 神戸大学のホームページ
☐ 留学フェア ☐ その他（具体的に）_____

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

<u>1</u> 学術的な目的（研究を深める等）	_____ 地理的な条件が良い
<u>2</u> 語学力の向上	_____ 旅行ができる
_____ 将来のキャリアのため（就職に役立つ等）	_____ プログラムの時期が良い
_____ 家族のバックグラウンドと関係がある	_____ プログラムの期間が良い
<u>3</u> 異文化体験	_____ 経費が安い
<u>4</u> 個人的理由	_____ その他（具体的に）_____

1-4. VISA について

VISAの種類：学生ビザ

申請先：移民局

必要日数：1日

VISA 取得にかかった費用：50ユーロ

VISA 申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

パスポートのコピー、経済力の証明書、入学許可証、顔写真が必要。オリエンテーション時にこれらの書類を提出し、その後指定された期間内に移民局でビザを受け取る。

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

特になし。

1-6. その他に必要な手続き、方法、料金等

特になし。

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社：全日空（ルフトハンザ航空）

利用旅行会社（航空券の手配をした会社）：阪急交通社

留学先大学最寄り空港名：フランクフルト・アン・マイン 空港

空港到着時間：14 時頃

空港からの移動手段：□大学手配の出迎え □知人の出迎え ■公共交通機関 バス、鉄道 □タクシー

■その他（具体的に）日本学の学生の出迎え

移動の所要時間・料金：150 分、50ユーロ

空港からの移動の際の注意点：

フランクフルト・アン・マイン空港（ドイツ）の他に、ルクセンブルク空港を利用することも可能。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無：■有り □無し

参加について：□必須 ■任意参加

参加費用：□無料 ■有料（金額：200ユーロ）

内容について記入してください。

ドイツ語講座、住民登録等の諸手続き、履修登録、週末の遠足。

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

VISAについての欄を参照。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

現地の健康保険（月90ユーロ）と銀行口座の開設（開設費30ユーロほど）。両方ともオリエンテーション時に行う。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

参加していない。

留学先大学：トリーア大学

留学先での所属学部・研究科：ドイツ学

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2016 年 9 月～ 2017 年 7 月

神戸大学での所属学部・研究科：人文学研究科

学年（出発時）：M1

本報告書記入日：2016 年 11 月 28 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

主に留学先の大学のホームページ。

住居について

- ・住居のタイプ：■大学寮 □アパート □ホストファミリー □その他（具体的に）
- 住居（寮、アパート）の名前：Studentenwohnheim Petrisberg
- ・部屋の種類：■一人部屋 □二人部屋 □その他（具体的に）
- ・ルームメイト：□現地学生 □留学生（出身国：） ■その他（具体的に）いない
- ・どのように探しましたか。：■大学の斡旋 □自分で探した □その他（具体的に）
- ・大学までの通学時間・手段：15 分、徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

寮の近くには、スーパーや銀行ATM、公園等がある。治安も良く、落ち着いていてとても居心地が良い。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

朝食と夕食は自炊、昼食は大学の食堂で食べている。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

留学の出願と同時に入寮の申し込みも行い、その後1か月ほどで特に問題なく住居が決まった。

大学の授業について**1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期：□出発前 ■到着後
- ・履修登録の方法：■On-line □International Office等の仲介 □その他（具体的に）
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：□無し ■有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

オリエンテーション期間中に、チューターの手助けを借りながら履修登録する日がある。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：■はい □いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習，復習，テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Mittelkurs II (B1. 2)	Christoph Dähling, Alexandra Valentin	6	6 ETCS	2 8	Sicher(B1+)という教科書を使い、宿題が出る。テ ストは抜き打ち3回と期末1回の計4回。
2	Sprechkompetenz (B1)	Alexandra Valentin	2	2 ETCS	2 9	プレゼンテーションと期末試験がある。
3	Japanische Geschichte	Andreas Regelsberger, Benedikt Vogel	2	2 ETCS	9 1	期末試験がある。
4	Grundzüge der deutschen Sprachgeschichte	Natalia Filatkina	2	2 ETCS	2 8 7	留学生は、口頭試験、筆記試験、 Hausarbeitのいずれかを選択できる。
5	Literaturwissenschaft - Probleme, Theorien und Modelle	Herbert Uerlings	2	5 ETCS	2 6 1	学期の中頃に、授業で取り上げられたトピックを一 つ選び、それが期末試験の題目になる。
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業形態は、Vorlesung（講義）とSeminar, Übung（演習）の二つに分かれてお
り、前者は大人数で、後者は少人数で行われる。ドイツ語の授業の成績は、出席回
数と試験の結果で決まり、それ以外の授業は、基本的に期末試験のみで
評価される。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00							
11:00		授業		授業			
12:00							
13:00							
14:00	授業		タンデム		ソフトボ ールの練 習		
15:00				タンデム			
16:00							
17:00							
18:00	授業	授業	授業	授業			
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

9月末にトリーアに到着しておよそ2ヵ月が経ちました。中央駅に着いた後に現地の日本学科の学生に迎えられ、特に問題もなくスムーズに異国での新たな生活を始めることができました。

それから3週間は留学生のためのオリエンテーションに参加し、ドイツ語の授業を受けたり、ドイツ滞在にあたって必要となる手続きを済ませたりと、忙しくも楽しい日々を過ごしました。他の大学と比較することはできないのですが、トリーア大学は留学生に対してとても真摯にきめ細かい支援をしてくれていると思います。例えば、健康保険の加入やビザ申請、それから履修登録などは、チューターが手伝ってくれますし、IZという留学生支援団体が中心となって、留学生のためのイベント（日帰りの遠足、パーティー、ハイキングなど）を頻繁に提供してくれます。また、日本学科の学生たちも飲み会などを開いてくれ、日本人留学生にとってはとても恵まれた環境が用意されていると言えます。

トリーアという街も、あまり大きくはありませんが、モーゼル川とワイン畑の美しい風景が広がる美しい場所で、住むのに何の不便もありません。古代ローマの遺跡が今なお残る街の中心部には、アジアンショップや日本食レストランもあり、歴史と国際性の混在を見て取ることができます。そして、ドイツのあまり胃に優しくない食事が苦手な人でも、快適な食生活を送ることができます。場所にも依りますが、僕の住んでいる学生寮は完全個室となっており、キッチンも共用ではありません。プライベートな時間を持ちたい人には快適かもしれませんが、他の学生との交流を多く持ちたい人にとっては、少々寂しい環境と言えるかもしれません。

それから、ドイツ語で授業を受けることはやはり大変です。僕は今までに4年間近くドイツ語を勉強してきましたが、それでもそれを実際に使ってみるとなるとなかなか上手くいけません。しかし、これは当たり前のことかもしれませんが、ドイツで生活していれば自然と慣れてくるものですし、友達や知り合いの助けを借りながら積極的に学習していれば、不安な気持ちも少しずつなくなってきました。ドイツ語の授業（“DaF”と言われることが多い）では、先生から発言を求められることが多く、それにはまだ慣れないですが、より積極的になれるようこれから努力していきたいです。

総合的に見て、トリーアはとても住みよいところだと思います。どの大学、どの都市にもそれぞれ良さがあるでしょうが、トリーアでは本当に退屈することがありません。特に、トリーアと日本とのつながりが強いことは、私のような留学生にとっては嬉しくもあり、頼もしくもあります。これからの留學生活も、一つひとつの経験を大切にしながら過ごしていきたいと思っています。